

《令和 2 年度事業計画概要》

長浜市のこれからの高齢者への介護等の情勢は厳しくなっていく。ゴールドプランによると75歳未満の高齢者数は減少するものの75歳以上の高齢者に関しては、これから増加傾向にあり、より要介護状態となる高齢者数も増加する見通しである。

その中で訪問看護の需要は令和 7 年までに利用者数見込みは微増であるが利用者一人当たりの月平均給付額は多くなっており、利用者一人当たりに必要なサービスそのものの量が増加=医療依存度の高さ、中重度者の割合の増加が考えられる。

そのことから当訪問看護ステーションのこれから役割として、より高度な医療にも対応できること、複雑かつ困難と思われる事例にも対応できることが必要と考えます。そのためにはスタッフ一人一人の知識・経験の向上は必要ではあるが、それに頼りすぎず、チームとしての質の向上を目指すことが必要と考えます。ラダー I のスタッフであってもチーム力を向上することで利用者一人一人の訪問看護の総力はラダー III (療養の場において身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から情報収集し、一連の看護過程を自立して展開できる) となるようにすることで、様々な利用者に対応できるチームとなり得ると考えます。

昨年度から新規事業に向かっための準備を進めるために訪問看護ステーションの拡大のための人材確保・人材育成、訪問看護ステーションスタッフの質の向上、訪問看護ステーションの規模拡大を重要目標としてきました。この3つの目標は新規事業までの中期的に実現するための目標であるため、引き続き目標達成のために必要ではあるが、昨年度はこの目標の具体的でかつ細分化された実行可能な内容にはなっていなかったため、今年度はより具体的な計画を立案していくこととします。

また、スタッフが9人となったことで今まで不十分であった職務分掌の作成や新任者教育・現任教育の明文化、管理者の管理業務の充実、様々なマニュアルの見直しとチーム作りなどを行い、ステーションの運営が体系的に行えるようにして行くことで、チーム力の向上につながると考えています。

